

「ビジョンを見、夢を見る」 2025年01月01日 新年礼拝
使徒の働き 2章 14～21節

主の2025年、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今年は1月1日が週の半ばになりましたので、元日に新年礼拝をささげることになりました。毎年この新年礼拝で、4月からの新年度の働きのために、みことばを通して導きを求めてきました。今年は今日の新年礼拝と、5日の主日礼拝で、新年度ののためのみことばをお開きし、備えさせていたいただきたいと願っています。

クリスマス祝会の時に、東関東地区の宣教キャラバンで訪問した時の様子を紹介いたしました。私は昨年、全国宣教協力委員会の時に、また宣教キャラバンで、香川県の教会を訪問いたしました。そこで見た教会の現状は、とても悲しいものだったということ、皆さんにお伝えしてまいりました。特に祝会では『観音寺聖書教会』の様子を写真を通して知っていただきましたが、教会の働きが続けられなくなるかもしれない、教会が教会として存続できなくなるのではないかと、そのような状況を私たちは見せられています。教会が現在のようになったのは何故なのか、教会がビジョンを見ることができず、神のご計画を信仰によって受け取ることができなかった結果ではないか、そのように感じさせられました。2回の訪問で、特に主が教えてくださいましたことの中に、神のみこころの計画を持って歩むということ、ただ目先のそして今のことだけではなく、今後の歩みについて主のみこころを求めつつ従って行くことを教えられた思いがいたします。それは、私たちが訪問した香川県の教会だけでなく、各地の教会に問われていることであると思います。残念なことに私たちの教会の伝道所に位置づけられているみらい平キリスト教会も、力を失って困難な中に置かれていることを知っています。

教会は主の教会ですから、神のみこころの内にある計画を信仰によって受け止めて実行するのです。私たちも新しい年度に向けて、主のみこころを求めて歩み、神からのビジョンをいただいて歩みたいと願わされます。

箴言 29章18節に、「幻がなければ、民は好き勝手にふるまう。しかし、みおしえを守る者は幸いである。」と教えられています。「幻」という言葉は日本語の辞書でその意味を調べますと、『実際にはないものが、あるように見えること。また、存在の確認が難しいもの。たちまちのうちに、はかなく消えてしまうもの。』と書かれています。しかし、聖書に書かれている「幻」の本来の意味は、消えてしまうまた実際にはないものという意味ではなく、英語の聖書が『ビジョン』と訳しているように、それは実在する確かな定めという意味で、それは将来の見通しや未来像のこと、目指すゴールのこと、また将来に向けてこうありたい、こうあるべきという姿を示す言葉です。理想像とか未来像、展望などと言われる言葉で、しかもそれが神のみこころの内にあるものであり、たちまちはかなく消えてしまうようなものではないのです。

それは、先ほど交読しました詩篇 33 篇のみことばからも教えられています。8～11節を見ますと、「全地よ 主を恐れよ。すべて世界に住む者よ 主の御前におののけ。主が仰せられると そのようになり 主が命じられるとそれは立つ。主は 国々のはかりごとを破り もろもろの民の計画をくじかれる。主のはかられることは とこしえに立ち みこころの計画は 代々に続く。」と書かれています。主が仰せられまた命じられること、それは主がはかられることであり、主のご計画であり、そのみこころの計画は消えていく幻ではなく、「とこしえに立ち」「代々に続く」ものです。つまり主にあるビジョンのことです。それゆえ主を恐れ、御前におののけと命じています。人が描く計画は、主によって破られ、その計画はくじかれると告げています。人の計画は、それこそはかなく消えてしまう『夢幻』に過ぎないのだと教えているのです。

今朝は、使徒の働き 2章 14～21節を司会者に読んでいただきました。ここに主イエスが約束された通りに聖霊が降臨された時の様子が書かれています。聖霊降臨を記念するペンテコステ礼拝でよく開かれるみことばですが、聖霊に満たされた使徒たちが他国の言葉で語り出したので、その様子を見た人々は呆気にとらわれ、驚き不思議に思ったのです。そこで使徒たちが立ち、ペテロがこの神のみわざについて人々に語りかけました。ペテロは旧約聖書に記されている預言者ヨエルによって預言されたことが、今ここに実現したのだと語ったのです。17節の後半に、ペテロは「あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。」と語っています。ここに「幻を見、…夢をみる。」と書かれています。英語の聖書では「幻」をビジョンと、「夢」はドリームと訳していますが、この「夢を見る。」とは『夢で幻を見る』という意味の言葉で、どちらもビジョンのことを意味しているのです。聖書の原語であるギリシャ語を詳しく訳している『詳訳聖書』を見ますと、訳語の補足のためや文章を明らかにするための挿入句が書かれていて、「あなたたちのむすこ、娘は預言し〈神のみ旨を告げ〉、あなたたちの若者たちは、幻〈すなわち、神が与えられる幻〉を見、あなたたちの老人たちは〔神の示しによる〕夢を見るようになる。」と書かれています。すなわち「預言」は神のみ旨であり、「幻」は神が与えるビジョンのこと、そして「夢」は神の教えによるビジョンのことなのです。いずれも人の考えではなく、主なる神のみこころの中に教えられることです。ですから人間的な計画ではありませんし、消えてしまうような幻でもありません。それは詩篇のみことばに教えられている「みこころの計画」のことです。

今日の説教の題を『ビジョンを見、夢を見る』としましたのは、「幻」という言葉の意味を間違えないようにするためですが、私たちも人の願いや考えによるのではなく、神ご自身が与えてくださる神の「みこころの計画」を、教会として、また主の教会に連なる一人ひとりとして見ることに心を向けたいと思います。そして目先のこととしてではなく、これから後のこと、将来の教会や各人の歩みにおいて、神が何を委ねようとしておられるのかを、信仰によ

って受け止めて行きたいと願われます。

17節の前半に「神は言われる。終わりの日に、わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ。」と記されています。そして「青年は幻を見、老人は夢を見る。」と続いています。このヨエルを通して語られた「幻を見、…夢をみる。」ということ、それは聖霊の降臨によってもたらされるものとして預言されていたのであり、それがペンテコステの日に、聖霊の降臨によって実現したのです。すなわち、聖霊によって神の「みこころの計画」を見るということです。肉の欲によって立てた計画は、聖書が教えるビジョンではありません。また手っ取り早く目先の変化を求める計画も、聖霊によって与えられた計画ではありません。聖霊に満たされた人たちが神のビジョン、「幻を見、…夢を見る。」のです。老いも若きも、そして「しもべにも、はしためにも」聖霊が注がれると、皆がビジョンを見るのです。教会として、また一人ひとりとして、神が与えられ示される幻を、夢を、すなわちビジョンを見ることができるのです。

使徒の働きを見ますと、使徒パウロが世界宣教に遣わされたのは、「聖霊によって送り出され」（使徒 13:4）たからでした。そして聖霊によって「アジアでみことばを語ることを禁じられた」（16:6）ので、「ピティニアに進もうとした」（16:7）ところ、聖霊がそれを許されなかったのです。聖霊が宣教の働きを閉ざされているかのようですが、こうして「トロアスに下った」パウロは、マケドニア地方での宣教のビジョンを、幻を見たのです。

「幻」と訳されている言葉は、『外観』つまり表面に見える姿という意味や、『光景』つまり目前に広がる景色という意味で聖書の他の箇所にも記されています。よく祈って、みことばの導きを求めている時に、聖霊はビジョンを見せてくださるのです。まるで表面に見えるように、目前に広がる景色のように、みことばを通してはっきりと見せてくださるということです。年末年始に歌う讃美歌521番をこの後に歌います。毎年歌っていますので、年に一度であってもお分かりになると思いますが、その4節に『われらの行き先 さだかに見えねど 導く光に 身を委ねまつらん』という歌詞があります。聖霊が私たちを導く光となってくださり、ビジョンを見せてくださるのです。

さて、これから先の教会、そして教会に連なる私たち一人ひとりの行く先に、主はどのようなビジョンを見せてくださるのでしょうか。21節には「しかし、主の御名を呼び求める者はみな救われる。」と記されていますが、教会を通して、また私たち一人ひとりを通して救いに導かれる人々が起こされること、そのビジョンを見たいと思います。また救いに与った私たちが信仰においていただく霊的な事柄の中に、主からのビジョンを見ることができるようと願います。また具体的な事柄について、教会堂の維持管理や開拓伝道の働きなど、その全ての中に神のみこころの内にある「主のはかられること」「みこころの計画」をしっかりと見て進んで行きたいと思います。みらい平キリスト教会も、ビジョンを見て進んで行くことができるように、お祈りください。

また諸教会が主の「みこころの計画」に目を留め、ビジ

ョンをいただくことができるようにも祈りたいと思います。教会連合の中に、『青年プロジェクト推進委員会』という働きが設けられて、全国の青年たちが参加する集まりが開催されたりしてきました。この度は『地区キャラバンむという計画が立てられて、青年たちが『観音寺聖書教会』の清掃奉仕に出かけることになりました。私たちの教会からも後藤陽歌姉が参加する予定です。3日間清掃作業をしてくれますから、先日私たちが行った時よりも更に整えられることと思います。このためにぜひお祈りください。と同時に、その先の教会にビジョンが与えられるように祈りたいと思います。

4月から始まる新年度の教会の歩みが、「主のはかられること」「みこころの計画」に目を留めて進むことができるようにと願いつつ、また一人ひとりがしっかりとキリストに結びついて主の教会を立て上げていく働きにいそむことができるように、更に各人がキリスト者としてビジョンを見出すことができるように、主の導きを求めてまいりましょう。